

大熊町の財政及び人口データについて（補足資料）

国立大学法人 福島大学
「地域×データ」実践教育推進室
特任講師 加藤穂高

ここでは本編で示したデータの定義や出典の詳細を説明する。

1. 財政データ

(1) 定義

- ・名目値：各年度の普通会計決算総額（単位：千円）
※ただし、昭和30年度分のみ予算額
- ・実質値：名目値を消費者物価指数（帰属家賃を除く総合、2020年基準、年度平均）で調整した値

$$\text{実質値}_t = \frac{\text{名目値}_t}{\left(\text{消費者物価指数}_t / 100\right)}$$

また、県平均との比較にあたっては、実質値を後述する人口で除した値を使用している。

(2) 資料出典

- ・大熊町史編纂委員会 編（1985）『大熊町史 第1巻（通史）』（昭和30年度）
- ・福島県地方課『市町村財政年報』（昭和31～50年度）
- ・福島県統計課『福島県統計年鑑』（昭和51～54年度）
- ・総務省「地方財政状況調査（市町村別決算状況調）」（昭和55年度～）
- ・総務省「消費者物価指数」<https://www.stat.go.jp/data/cpi/1.html>

2. 人口データ

(1) 定義

図表作成にあたり、参照した人口データが年代によって異なるため注意が必要である。

- ① 昭和30～34年：各年4月1日時点の現住人口（単位：人）
- ② 昭和35～平成22年：各年10月1日時点の現住人口（単位：人）
- ③ 平成23年～：各年度の1月1日時点の登録人口（単位：人）

(2) 資料出典

- ・大熊町史編纂委員会 編（1985）『大熊町史 別冊（年表）』（昭和30～34年度）
- ・福島県統計課「福島県現住人口調査」
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045b/15847.html>（昭和35～平成22年度）
- ・総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/daityo/jinkou_jinkoudoutai-setaisuu.html（平成23年度～）

図1：一人あたり歳出額（実質）の推移

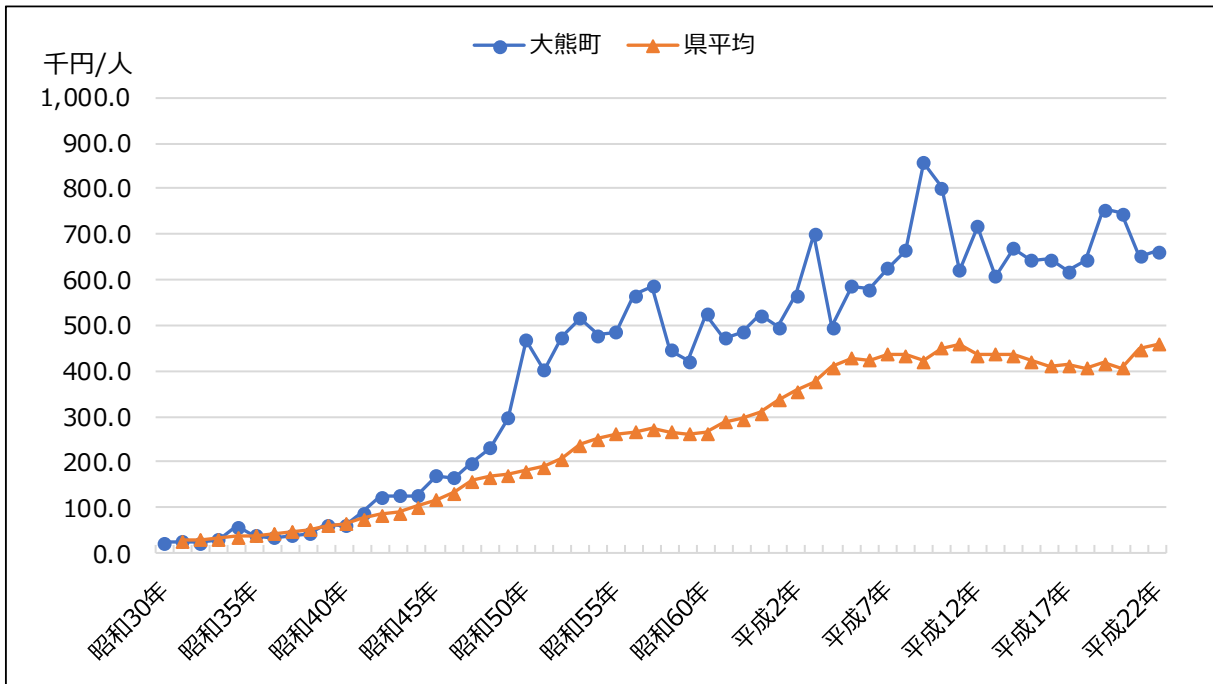


図2：大熊町の人口推移

